

## ▼カルビスケン錠 [内]

【重要度】★ 【一般製剤名】ピンドロール (U) pindolol 【分類】高血圧・狭心症・不整脈治療剤 [β遮断剤]

【単位】▼5mg/錠

【常用量】5～15mg/日

【用法】分3

【透析患者への投与方法】尿中未変化体排泄率が50%程度であるため5～10mg/日に減量 (5) 【その他の報告】減量の必要なし (3,12)

【保存期CKD患者への投与方法】減量の必要なし (3,10) 【その他の報告】減量の必要なし (12) Ccr<10mL/min : 5～10mg/日 (5)

【特徴】β1非選択性でISAを有するβ遮断剤。本態性高血圧症(軽症～中等症)、狭心症、洞性頻脈に適用。

【主な副作用・毒性】心不全の誘発・増悪、喘息症状の誘発・悪化、発疹、めまい、ふらつき、眠気、振戦、消化器症状、心窩部不快感、口渇、動悸、胸痛、浮腫、低渇旺、徐脈、脱力感、手足のしびれ感など

【モニターすべき項目】血算、血糖値 (DM患者)、心機能、肝機能、腎機能、血圧、ECG、心拍数

【吸収】消化管で90%以上、食事摂取により吸収量や吸収率が上昇 (1,11) 90～100% (U)

【F】75% (1) 70～90% (15) 腎不全患者ではFが低下する (Evans WE, ed: Applied Pharmacokinetics 3rd ed p8-1-8-49)

【tmax】約80min [空腹時] (1,11) 1～2hr (U)

【代謝】肝でグルクロン酸抱合や硫酸抱合される。代謝物の活性はない (1)

【排泄】尿中回収率約80% (1) 尿中未変化体排泄率36.1% (1) 40% (11,12,U) 54% (13) 40～54% (15) 【CL】425.8mL/min (1) 6.2mL/min/kg (15)

【t1/2】3.65hr (1) 2.5～4hr (11,12) 3～4hr (15) 【腎不全患者のt1/2】3～4hr (12)

【蛋白結合率】57.2% (1) 40% (U) 50～70% [うち30%がα-酸性糖蛋白に結合] (11) 50% (12)

【Vd】142L/man (1) 1.2～2.5L/kg (15) 1.2L/kg (12) 【腎不全患者のVd】1.10L/kg (Evans WE, ed: Applied Pharmacokinetics 3rd ed p8-1-8-49)

【MW】248.33

【透析性】除去率2% (15) 資料なし (1,U)

【TDMのポイント】有効血中濃度域0.05～0.15μg/mL (15) TDMの対象にならない 【O/W分配係数】0.41 (11) 0.82 (1) 【pKa】9.3 (1)

【効果発現時間】45min～1hr (1)

【更新日】20170123

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。